

第57回日本PTA東北ブロック研究大会

仙台大会

仙台で織りなす「未来」

～居場所を創るS.D.G.sプロジェクト～

2025年

9/13(土) 14(日)

13日 分科会 受付12:00～
13:00～16:30

14日 全体会 受付8:30～
9:00～12:30

分科会 仙台国際センター 展示棟

全体会 東北大学百周年記念会館 川内萩ホール



仙台市PTA協議会

大会趣旨

子どもを地域の真ん中において、家庭と学校、地域が一体となった三位一体の環境を整えていくためには、社会全体で子どもを育てる環境づくり、持続可能な地域作りをPTAとしても担っていかなければならない。親も子育てや生き方を学び続ける場が必要であり、人と人とのコミュニケーションが疎遠となったコロナ禍を経て、改めて絆を結び、子どもも大人も、生き生きと安心して生きることのできる社会・居場所を創っていく必要がある。ここ伊達な街仙台で、その方策・方向性について思いを共有し、語り合い未来を切り拓く取り組みを追求するものとする。

シンボルマーク



七夕飾りで仙台市章とPTAを表現し一体感と団結を表現。背景に市の花「萩」を配置し、仙台すずめ踊りの扇子、伊達政宗像で仙台を強調しました。

大会主題

仙台で織りなす「未来」 ～居場所を創るS.D.G.sプロジェクト～

劇的な変化の中で、人々の心の繋がりを再構築し、子どもから大人まで誰もが安心して自分らしくいられる未来（居場所）を仙台で見つけ出す。

S（せんだい） D（だての）

G（がんばっぺ） s（さくせん）

子どもたちの居場所を守り、大人たちの交流の場を広げることを目指します。

記念講演

脳の発達から考える教育と子どものウェルビーイング
～自分で未来を切り開く力を育む～



細田 千尋 氏

東北大学 加齢医学研究所脳科学部門
認知行動脳科学研究分野及び大学院
情報科学研究科 准教授

内閣府 ムーンショット研究目標9プロジェクトマネージャー

内閣府・文部科学省が決定した“破壊的イノベーション”創出につながる若手研究者育成支援事業（JST 創発的研究支援）研究代表者

仙台市教育局学びの連携推進室「学習意欲の科学研究に関するプロジェクト委員会」委員、日本ヒト脳マッピング学会委員、国立大学宮城教育大学附属小学校運営指導委員、Editorial board member of Frontiers in Computational Neuroscience を務める。

分科会・記念講演

区分	研究課題	講演者等
13日 第1分科会 組織運営	新たな社会に向けた施策を踏まえたPTA組織 ～現実と仮想を生きる子どもたちのために～	高谷 将宏 氏 尚絅学院大学客員教授
第2分科会 家庭教育	子どもの自己肯定感や社会性の発達を促す居場所づくり ～互いに寄り添い、支え合える取組～	川村 修弘 氏 山形大学大学院 教育実践研究科准教授
第3分科会 地域連携	地域で共に育む子どもたち ～地元に住みながら世界とも勝負できる人間を育てる～	泡淵 栄人 氏 文科省家庭教育支援室室長補佐 (元山形大学学術研究院教授)
第4分科会 健康安全	子どもたちの健やかな成長 ～子どもの運動発達に向けた大人の関わりと、部活動の地域移行～	郡山 孝幸 氏 仙台大学 子ども運動教育学科長教授
特別分科会 人権教育	心を一つに、笑顔咲き誇る、一人ひとりが輝く未来へ ～みんな違って、みんないい。個性が輝く共生社会のために～	星山 麻木 氏 明星大学 教育学部教授
14日 記念講演 (全体会)	脳の発達から考える教育と子どものウェルビーイング ～自分で未来を切り開く力を育む～	細田 千尋 氏 東北大学准教授

会場

仙台国際センター 展示棟（分科会）
東北大学百周年記念会館 川内萩ホール（全体会）

宮城県仙台市青葉区青葉山無番地
宮城県仙台市青葉区川内 40

お問合せ

東北ブロック研究大会仙台大会事務局
(仙台市PTA協議会事務局内)

参加費

一人 3,500 円

TEL 022-227-9545 FAX 022-227-9218